

国語科学習指導案

第2学年

【単元】ようすをくわしくつたえよう（『ようすをあらわすことば』光村図書2年下）】

| 考察 | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|-------------------|---|--|---|
| 育成を目指す資質能力 | <ul style="list-style-type: none"> 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこと及び、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることに関わる知識及び技能（(I)オ） | <ul style="list-style-type: none"> 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する能力（B（I）ウ） | <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつよさを感じるとともに、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度 |
| 児童の実態 | <ul style="list-style-type: none"> 経験したことについて書き表す際に「様子を表す言葉」よりも、したことを表す言葉を多く使うことが多い。 オノマトペや比喻などを話や文章の中で使って、様子をくわしく伝える子もいるが、それらを自覚的に使ってはいない。 | <ul style="list-style-type: none"> 主語と述語を対応させた簡単な文を用いて、経験したことを文章に書きまとめることはできる。 オノマトペや比喻などの「様子を表す言葉」を使い、読み手にその内容をくわしく伝えるという目的意識の下、友達と文をつなげてまとまりのある文章を書く経験はない。 | <ul style="list-style-type: none"> 「誰が何した」や「何がどうなった」などの主語と述語を対応させた簡単な文を用いて、経験したことを書いて伝えることよさを感じている。 経験したことをくわしく書いて伝えることよさに気付いていない子が多い。 |
| 価値 | <ul style="list-style-type: none"> 学年行事「榛名湖畔オリエンテーリング（以下、「榛名オリ」）」の思い出を友達とくわしく書き表す活動とは、同じ経験をした友達と、その時の出来事や気持ちを文章に書きまとめ、写真付きの1冊の「『榛名オリ』思い出アルバム」を作る活動である。互いの思い出に残したいことを聞き合いながら文章に書き表すため、友達が使う語句を手がかりにしながら、自分の経験したことを表す語句の量を増すことができる。また、オノマトペや比喻などの「様子を表す言葉」を使った書き表し方についての考えを友達と聞き合う中で、語と語や文と文との続き方に注意して文章を書く力を高めることができる。さらに、「様子を表す言葉」によって、思い出をくわしく書き残すことができるよさを感じることができる。よって、経験したことをくわしく書いて伝えることよさに気付くことができる。 「榛名オリ」で見聞きしたことは、自然物の様子を捉えた「湖の水がキラキラしていた」という擬態語や「鳥がキーキー鳴いていた」という擬音語を用いて書き表しやすい。そのため、「様子を表す言葉」を文章の中で用いる技能を高めるとともに、「様子を表す言葉」に関する語彙を豊かにすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 友達と文をつなげながら、一つのページを構成することは、くわしく伝えたい出来事や気持ちに関連するように、文と文との続き方を考える必要がある。その際、友達と、文と文との続き方についての考えを聞き合うことになる。そのため、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する力を高めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 「榛名オリ」は子どもたちにとって、印象深い学年行事である。そのため、そこで経験したことを思い出として伝え合いたいという思いをもちやすい。また、榛名湖畔で体験した、五感を使った活動は、感じたことを言葉で書き残したいという思いをもちやすくする。よって、国語を大切にしてい思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことができる。 |
| 助・教 | <p>「様子を表す言葉」の意味、働き、使い方に着目しながら、対象と言葉、言葉と言葉との関係を捉えたり問い直したりして、経験したことを文章に書くこと。</p> | | |
| 今後の学習 | <p>2年「2の○思い出詩集（『見たこと、かんじたこと』光村図書2年下）」において、1年間の思い出の中から自分の心に残った出来事を詩に書き表す学習へと発展していく。</p> | | |

本時の学習 (4/7時間目)

ねらい 思い出に残したいことや「様子を表す言葉」を使った書き表し方、文と文との続き方についての互いの考えを友達と聴き合いながら文章に書き表すことを繰り返すことを通して、自分が経験したことの書き表し方を工夫することができる。

評価項目 「様子を表す言葉」を適切に使い、友達と文をつなげてまとまりのある文章を書いている。

<Jamboard②>

| 学習活動と児童の意識 | 指導上の留意点 |
|---|---|
| <p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>・この間は、友達と写真を選べたけど、湖のことをくわしく書こうとしていたところで時間が終わっちゃったんだよな。「様子を表す言葉」をどう使ったらよいかを考えないと、くわしくならないなあ。 (課題意識)</p> | <p>○前時までの自分の学習の進捗状況を学習計画と照らして振り返れるよう、学習計画を提示した上で、前時に書いた振り返りの記述を読み返すよう促す。</p> <p>○相手意識や目的意識を基にした本時の学習の課題意識をもてるよう、「書いたり読んだりするときの視点」を問いかける。</p> |
| <p>めあて：「様子を表す言葉」の使い方を友達と考えて、アルバムづくりを進めよう</p> | |
| <p>2 アルバムに使う写真を決めたり、「様子を表す言葉」を使った文を考えたりしながら、「『榛名オリ』思い出アルバム」を書き進める。</p> <p>・ペアの友達は「歩いていると、木の間からは名こがよく見えて、とてもきれいでした。」って、書いていたのだったな。でも、僕は湖がキラキラ輝いていて、きれいだったっていう様子を書きたいんだよな。ちょっと相談してみよう。</p> <p>・「木の間からキラキラしているは名こがよく見えて」って、付け足してもらえばいいの。これで、僕が伝えたいことが書けた感じがするよ。</p> <p>・僕と同じで湖がきれいな様子を書きたいのか。「みずうみがかがみのようでした。」って、例えている書き方がいいね。僕たちも「のように」で書けないかな。</p> <p>・榛名オリの活動2で見つけた枝が、サンゴ礁みたいに見えたんだね。「さんごしょうみたいでした。」でも様子が伝わるけど、「さんごしょうのようなえだが」ってすれば、「おもしろかったです。」とか続きが書けるんじゃないかな。あ、だから、僕たちも「かがみのようなみずうみが見えました。」ってすればいいの。</p> <p>・いろいろな「様子を表す言葉」を使っているペアがグループの中にいるのか。ちょっと読ませてもらう。本当だ。「しーんとしていて、まるで人がいないみたいでした。」って、二つも「様子を表す言葉」を使っているすごいな。僕たちも、どこかで二つ使えるところがないかな。</p> <p>・「木の間からキラキラしているは名こが見えて、とてもきれいでした。」のあとに、「それは、まるで、かがみみたいでした。」って文を続けたら、榛名湖のことがすごくくわしくなるな。 (課題を解決した意識)</p> | <p>○友達の思い出に残したい出来事や「様子を表す言葉」を使った書き表し方に着目できるよう、アプリケーション「Jamboard」上にペアに1枚の台紙を用意し、「榛名オリ」で見た景色や出来事の様子、そのときの気持ちを文で書き表すよう促す。</p> <p>○思い出に残したい出来事や「様子を表す言葉」を使った書き表し方、文と文との続き方についての互いの考えを聴き合えるよう、ペアの友達とは横並びで、グループの座席を配置し、友達の困り感にすぐ対応するよう促す。</p> <p>○書き表し方の工夫の手がかりが見つからないペアが、粘り強く文章を書き直すきっかけを得られるよう、「時間が経って読んだときも榛名オリのことをはっきり思い出せるか」と「『様子を表す言葉』を使ってくわしく伝わるか」の二つの視点を用いて、他のペアやグループの文章を音読するよう助言する。</p> <p>○語と語や文と文との続き方に着目した推敲の仕方に気付き、文章を進んで読み直したり書き直したりすることを繰り返せるよう、活動が停滞しているペアが書いている文章を意図的に取り上げ、語や文の続き方を問いかける。</p> <p>○様々な「様子を表す言葉」を進んで使うことができるよう、「様子を表す言葉」を複数使って書き表しているペアを称賛する。</p> <p>○思い出に残したい出来事や気持ちがひとまとまりの文章になっていることを確かめられるよう、書きあがった文章をペアで音読し、「時間が経って読んだときも榛名オリのことをはっきり思い出せるか」と「『様子を表す言葉』を使ってくわしく伝わるか」の二つの視点を用いて推敲するよう促す。</p> |
| <p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>・「様子を表す言葉」を二つも使って、榛名湖のことをくわしく書けたよ。次の時間は、違う写真を使って文章を書いて、アルバムのページを増やしたいな。</p> | <p>○学習の達成感や課題を実感し、次時の学習への見通しをもてるように、「できたこと」「これからのこと」の視点を基に、ノートに本時学習したことを振り返って考えたことを記述するよう促す。</p> |

指導と評価の計画

| | | | |
|----------|---|---|---|
| 目標 | 「様子を表す言葉」を使いながら、経験したことをまとまりのある文章として書き表すことができる。 | | |
| 議題 | 学年行事「榛名湖畔オリエンテーリング（以下、「榛名オリ」）の思い出を友達とくわしく書き表す活動 | | |
| 評価 規準 | (①知・技) 身近なことを表す語句の量を増し、「様子を表す言葉」を文章の中で使いながら、語彙を豊かにしている。(I)オ (②思・判・表) 「書くこと」において、語と語や文と文の続き方について注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して文章を書いている。(B(I)ウ) (③主体的態度) 進んで身近なことを表す語句の量を増して語彙を豊かにし、学習課題に沿って、「様子を表す言葉」を使って文章を書こうとしている。 | | |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
| つかむ | 1 | ○生活科「電車にのって出かけよう」を題材にした教師のモデル文を基に、オノマトペや比喩の表現のよさを話し合い、学習課題をつかむ。 学習課題 「様子を表す言葉」を使って、榛名オリの思い出を書き残そう | ○オノマトペや比喩などの「様子を表す言葉」を使った文章を書くという見通しをもてるよう、教師が「様子を表す言葉」を使って作成した「『電車にのって出かけよう』思い出アルバム」を提示する。 |
| ふかめる | 1 | ○「『榛名オリ』思い出アルバム」の完成までの学習計画を立て、「様子を表す言葉」を集める。 学習計画例：①アルバムに使う写真を決める。 ②「様子を表す言葉」を使って文を書く。 ③書いた文を読み合って、書き直す。 | ○「榛名オリ」で見た景色や出来事の様子、そのときの気持ちとオノマトペや比喩などの「様子を表す言葉」を結び付けられるよう、互いが選んだ、思い出に残したい「榛名オリ」の写真とその写真に合わせた「様子を表す言葉」をアプリケーション「Jamboard」上で共有する機会を設定する。 |
| | 3 | ○学習計画を基に、ペアやグループごとに①～③を繰り返す。(本時2/3) | ○様々な「様子を表す言葉」を知り、文章の中で使えるよう、「ふかめる」過程の第1時で集めた「様子を表す言葉」を「Jamboard」上に提示・共有する。 ○互いが書いたものを見合いながら、文章を書き表すことができるよう、グループごとに「『榛名オリ』思い出アルバム」の台紙をアプリケーション「Jamboard」上に用意する。 ○学習課題に沿って、書く過程を自己調整する意識がもてるよう、「書いたり読んだりするときの視点」を提示する。 |
| | 1 | ○アルバムの製本をし、他のグループとアルバムを読み合う。 | ○「様子を表す言葉」に着目して文章を読めるよう、推敲の視点「様子がはっきり伝わるか」を提示する。 |
| ふりかえる | 1 | ○完成したアルバムを読み直し、学習を振り返る。 | ○時間が経ってからも思い出がはっきり思い出せる文章を書き表すという目的を果たしたことを実感できるように、3学期にアルバムを読む機会を設定する。 |
| | | | 評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 ◇オノマトペや比喩などの「様子を表す言葉」に関心をもちこれまでに学んだ書くことの学習を想起しながら学習課題について発言したり記述したりしている。 <発言・ノート③> ◇オノマトペや比喩などの「様子を表す言葉」を使って様子を表せる写真を選び、出来事や気持ちを表現するための「様子を表す言葉」を書き出している。 <Jamboard①> ◇オノマトペや比喩などの「様子を表す言葉」を使いながら、「榛名オリ」で見た景色や出来事の様子、そのときの気持ちを書いている。 <Jamboard①> ◇「様子を表す言葉」を適切に使い、友達と文をつなげてまとまりのある文章を書いている。 <Jamboard②> ◇書いた文章を読み直ししながら、語や文を書き直したり書き加えたりしている。 <行動・Jamboard③> ◇「様子を表す言葉」の使い方のよさを指摘しながら、読み合っている。 <行動・Jamboard①> ◇学習課題の解決状況に関わって、「様子を表す言葉」を用いて文章を書いた成果について記述している。 <ノート③> |